



# 優秀賞 (総合部門)

タイトル

モダン広縁のある家

タイプ

持家一戸建

講評

現状の基本的構造は変えずに、南側玄関周りの広縁と、北側のユーティリティを増築した。広縁は玄関兼廊下兼サンルームの緩衝空間で、全く新しいコンセプトを提示している。木製建具による玄関の表情の変化も秀逸である。

リフォーム前後の写真

改修前



①



②



③

改修後



④以前は外部の視線を気にして年中カーテンを開けていた。今ではサンルームを介して光が入り込む。



⑥開放的に外部とつながる。



⑦障子を閉めるとやさしい光に。



⑧玄関スペースから和室までつなぐ広縁としてのサンルーム



⑧大容量の本棚を持つ書斎



⑨畳ベンチ付の書斎机



⑩桧板張りの浴室と洗面



⑪腰壁床板とも杉板張り



⑫玄関は木製建具の開け閉めで空間が変化する。

## リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

ご両親を見送り夫婦と子供2人家族になったYさんご夫妻は、ご両親のつくられた家への愛着から建替えを選ばず、仏間でもある西のふた間続きの和室を残したうえで現在の生活スタイルに合わせたリフォームを希望されました。来客が多いと言うご夫妻は、和室にお客様を通すことが多いため、直接つながる廊下を作ってほしいとの要望でした。そこで、玄関を兼ねた現代風広縁を増築して要望に応えると同時に、廊下といった機能にとどまらない明るく開放的なサンルームのような空間をつくりました。この空間があることで、ダイニングや書斎、和室は空気層としての広縁の

効果で冬は暖かく、夏は日差しを遮りプライバシーも確保するといった効果を得ることになりました。北に増築されたユーティリティはその効果と同時に収納量確保が目的です。省エネ性向上とともに、耐震性も向上しました。無筋布基礎はRC造ベタ基礎に、腐朽構造材は取替え、耐力壁を増設し、接合金物を設置し、現行基準法の1.5倍の性能を確保しています。このように、住宅も人間と同じように確実かつ確に治療がなされ、同時に家族の生活の可能性が広がるような「住まいの再生」としてのリフォームを行うことができました。

特に配慮した住宅性能 構造の安定、劣化の軽減、維持管理への配慮、温熱環境、空気環境、光・視環境、高齢者への配慮、防犯データ

所在地	大阪府堺市	構造/築後年数	在来木造/48年
該当工事面積	114 m <sup>2</sup> /総工事床面積 114 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	2,200 万円/総工事費 2,200 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満: 2人/65歳以上: 1人/15歳未満: 2人/ベッド:		
設計者	(有)エムズ建築設計事務所	担当者	三澤 文子
施工者	(株)コアー建築工房	担当者	大谷 貴紀

## リフォーム前



## リフォーム後

